

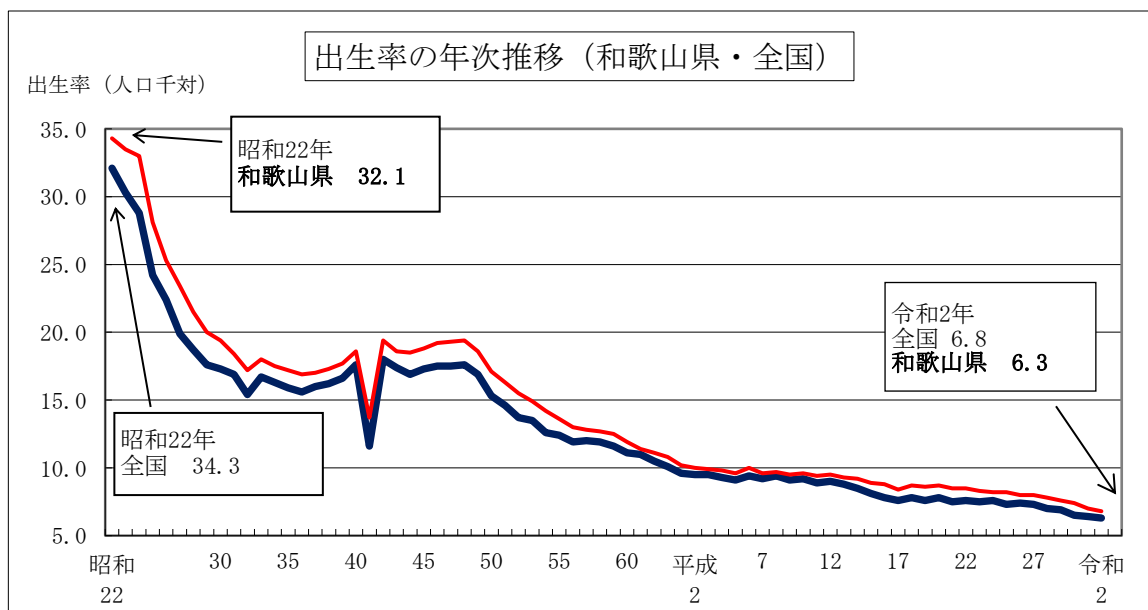
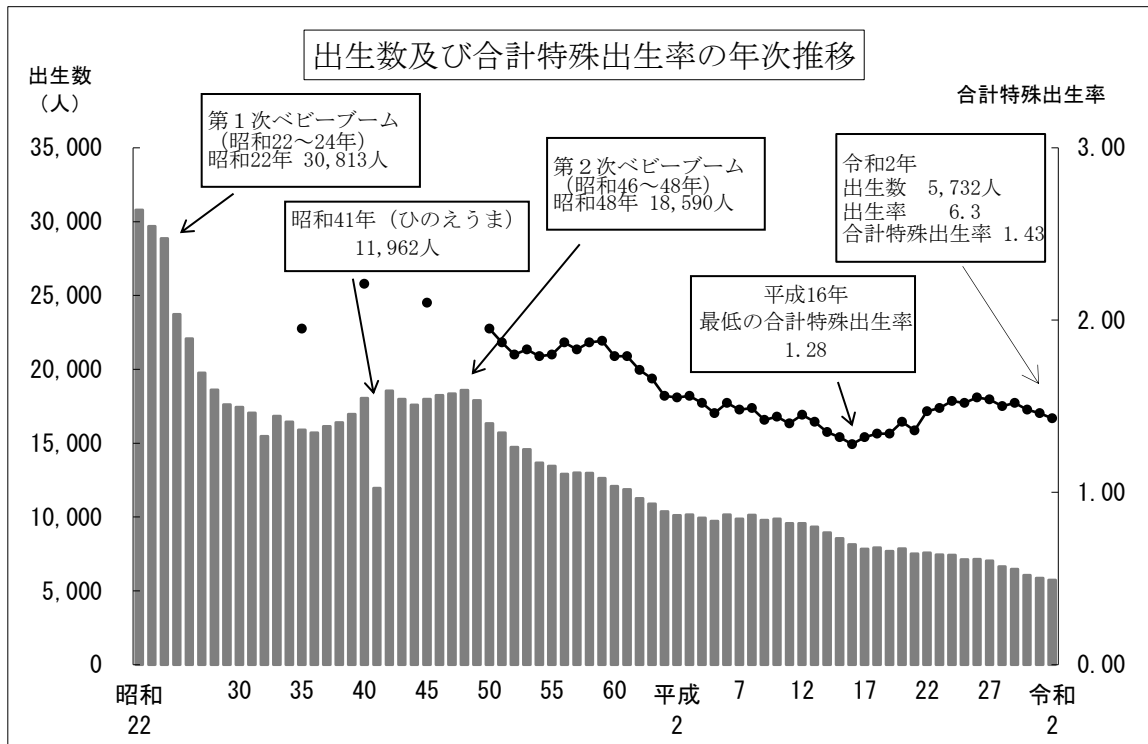
Ⅲ. 結果の概要

1 出生

令和2年の出生数は5,732人で、前年の5,869人より137人減少した。

出生率（人口千対）は6.3で、前年の6.4を下回った。また、合計特殊出生率は1.43で、前年の1.46を下回った。

昭和49年以降、出生数は減少傾向が続いている。



出生順位別の母の平均年齢は、第1子の母の出産年齢が29.8歳で、前年を0.5歳上回った。第2子の母の出産年齢は32.0歳で、前年を0.7歳上回った。第3子の母の出産年齢は33.3歳で前年を0.6歳上回った。

和歌山県は全国に比べ、いずれの出生順位においても母の平均年齢は低い状況にある。

出生順位別母の平均年齢（歳）（和歌山県）

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
第一子	28.8	29.1	29.4	29.3	29.6	29.7	29.7	29.8	29.7	29.5	29.3	29.8
第二子	31.1	31.2	31.0	31.6	31.4	31.7	31.7	31.8	31.9	31.9	31.3	32.0
第三子	33.1	32.8	32.9	33.0	32.9	32.8	33.1	33.3	33.2	33.1	32.7	33.3

出生順位別母の平均年齢（歳）（全国）

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
第一子	29.7	29.9	30.1	30.3	30.4	30.6	30.7	30.7	30.7	30.7	30.7	30.7
第二子	31.7	31.8	32.0	32.1	32.3	32.4	32.5	32.6	32.6	32.7	32.7	32.8
第三子	33.1	33.2	33.2	33.3	33.4	33.4	33.5	33.6	33.7	33.7	33.8	33.9

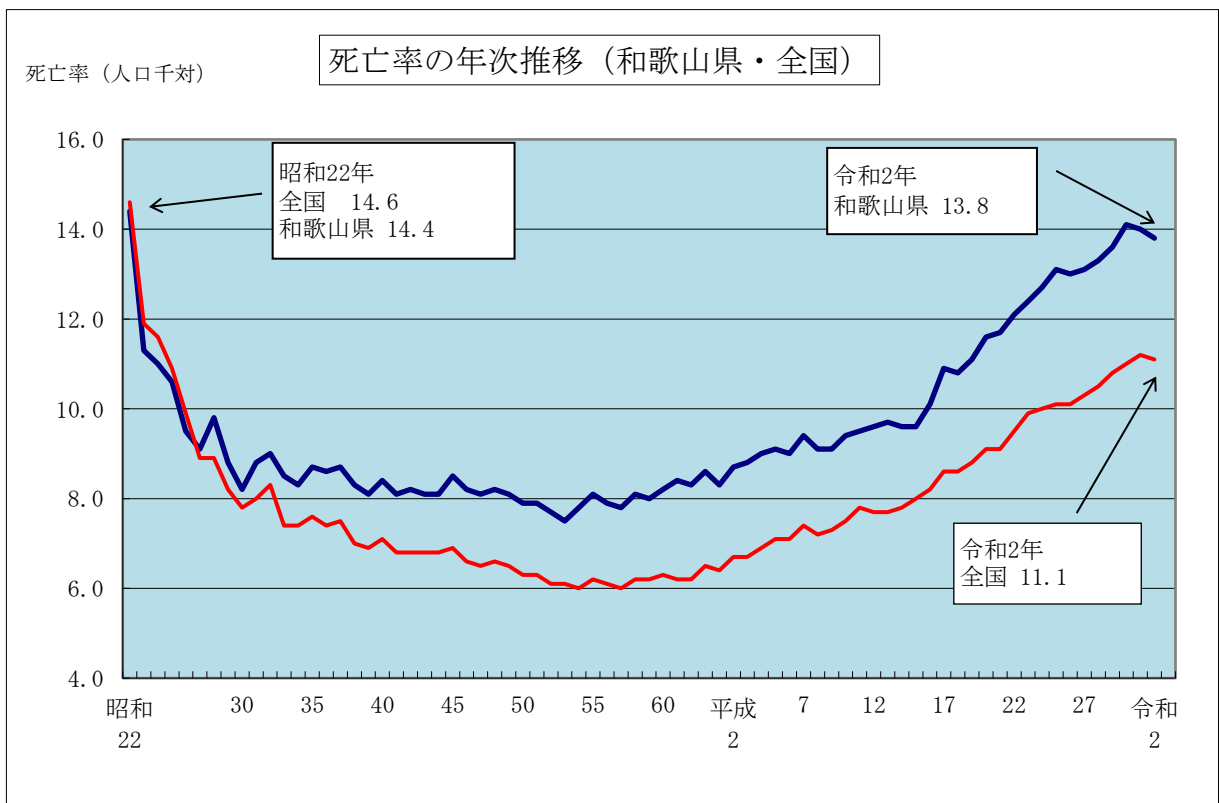
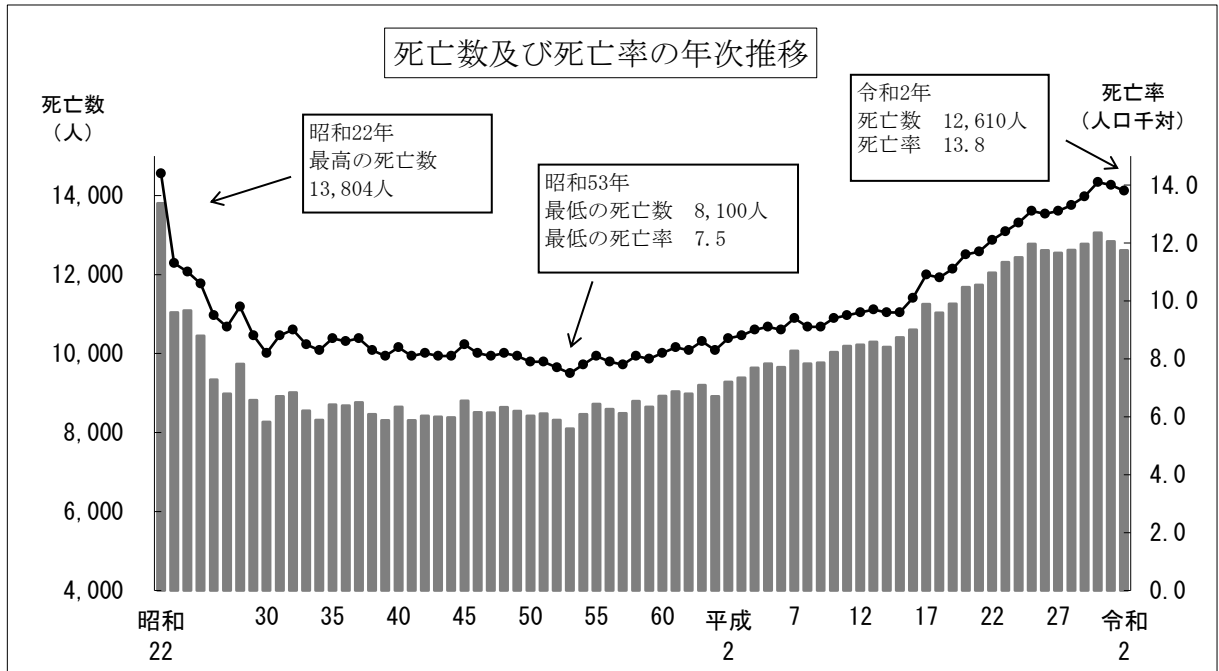
2 死亡

(1) 死亡数・死亡率

令和2年の死亡数は12,610人で、前年の12,837人より227人減少した。

死亡率（人口千対）は13.8で、前年の14.0を下回った。

昭和26年以降は8,000人前後で推移していたが、平成7年及び平成10年以降は1万人以上となり上昇傾向にある。



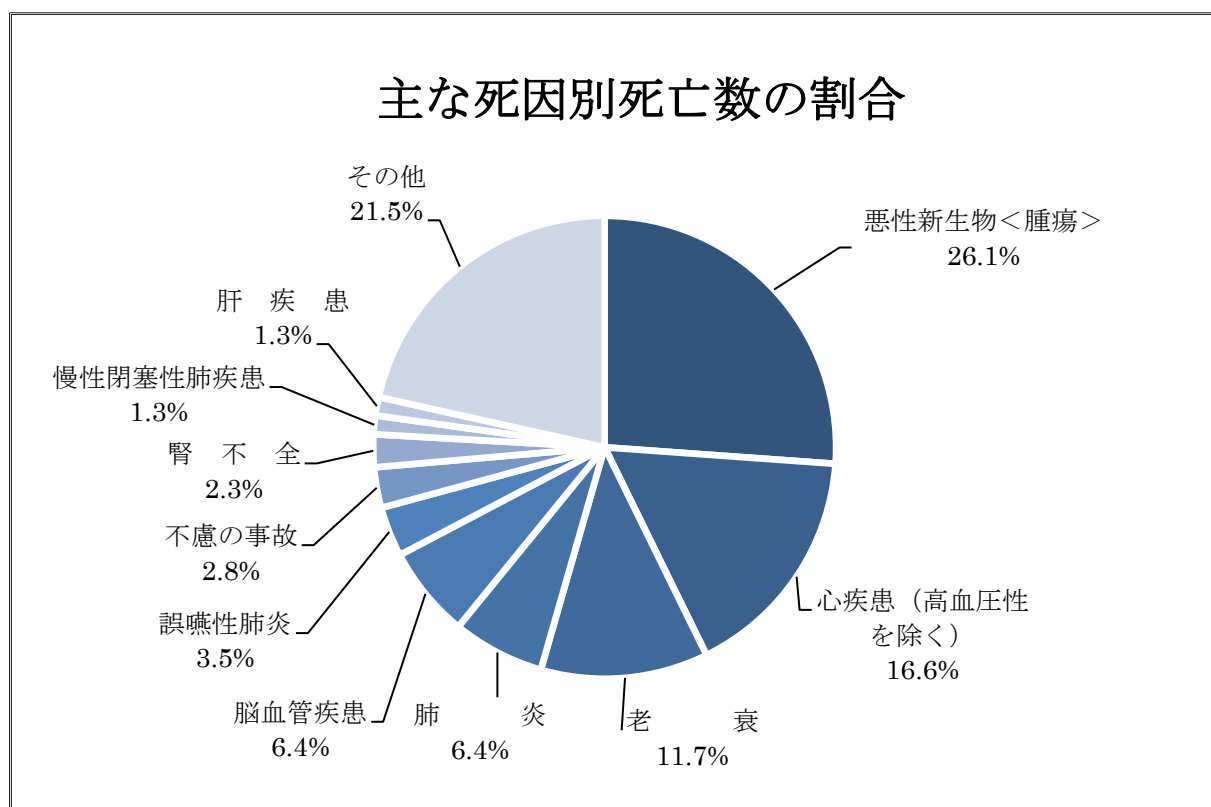
(2) 死因別死亡数

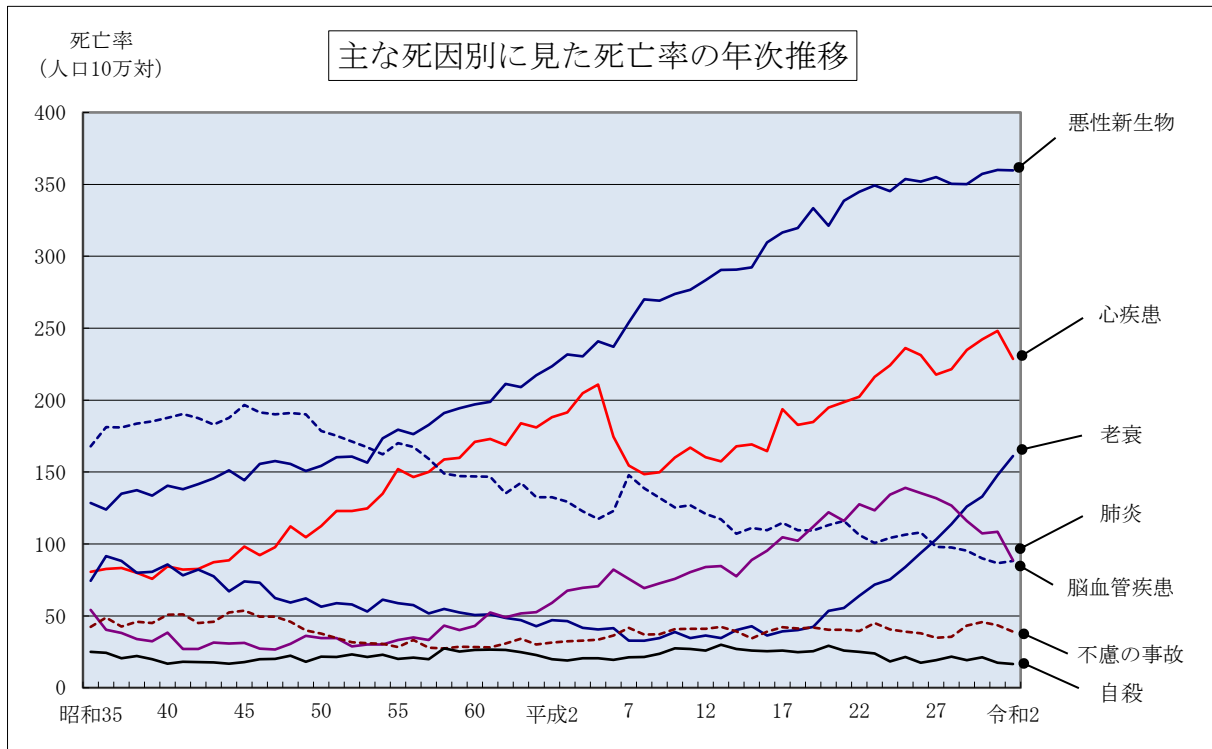
死因別に見ると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患（高血圧性を除く。）、第3位は老衰であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ 26.1 %、16.6 %、11.7 %となっている。

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物は昭和 54 年以降第1位となり、その後も上昇傾向が続いているが、令和 2 年の人口 10 万人当たり死亡率は 359.8 で、前年の 360.0 より 0.2 ポイント下がった。

心疾患（高血圧性を除く。）は昭和 58 年に脳血管疾患にかわって第2位となり、死亡数・死亡率はともに、増減はあるものの、増加の傾向にある。

老衰は平成 17 年から増加し、平成 29 年から第3位となっている。





注) 平成6年から7年において心疾患(高血圧性を除く)の死亡率が低下したのは死亡診断書(死体検案書)の記載方法が変わったことが影響したと考えられる。

(参考)

平成7年1月以降、死亡診断書にある死亡の原因欄に「終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は記載しない」こととなった。

死亡数を死亡場所別に見ると、悪性新生物では1位「病院」2位「自宅」3位「老人ホーム」となっている。自宅および老人ホームなどでの病院以外での死亡者数は増加傾向にあり、病院での死亡者数は減少傾向にある。

心疾患、脳血管疾患においても1位「病院」2位「自宅」3位「老人ホーム」となっている。

悪性新生物による死亡者数（人）（和歌山県）（ ）死亡総数に対する割合%

	総数	病院	診療所	介護老人 保健施設	老人 ホーム	自宅	その他
H20	3,234	2,749 (85.0)	80 (2.5)	13 (0.4)	32 (1.0)	341 (10.5)	19 (0.6)
H21	3,385	2,893 (85.5)	100 (3.0)	11 (0.3)	29 (0.9)	336 (9.9)	16 (0.5)
H22	3,440	2,870 (83.4)	85 (2.5)	20 (0.6)	50 (1.5)	386 (11.2)	29 (0.8)
H23	3,457	2,967 (85.8)	62 (1.8)	16 (0.5)	49 (1.4)	341 (9.9)	22 (0.6)
H24	3,394	2,870 (84.6)	75 (2.2)	20 (0.6)	52 (1.5)	346 (10.2)	31 (0.9)
H25	3,451	2,810 (81.4)	94 (2.7)	29 (0.8)	63 (1.8)	429 (12.4)	26 (0.8)
H26	3,406	2,745 (80.6)	80 (2.3)	23 (0.7)	62 (1.8)	457 (13.4)	39 (1.1)
H27	3,405	2,740 (80.5)	81 (2.4)	27 (0.8)	79 (2.3)	435 (12.8)	43 (1.3)
H28	3,329	2,638 (79.2)	89 (2.7)	27 (0.8)	99 (3.0)	435 (13.1)	41 (1.2)
H29	3,287	2,586 (78.7)	89 (2.7)	28 (0.9)	131 (4.0)	417 (12.7)	36 (1.1)
H30	3,319	2,524 (76.0)	95 (2.9)	39 (1.2)	128 (3.9)	494 (14.9)	39 (1.2)
R1	3,305	2,586 (78.2)	62 (1.9)	30 (0.9)	144 (4.4)	431 (13.0)	52 (1.6)
R2	3,296	2,427 (73.6)	56 (1.7)	58 (1.8)	133 (4.0)	584 (17.7)	38 (1.2)

心疾患による死亡者数（人）（和歌山県）（ ）死亡総数に対する割合%

	総数	病院	診療所	介護老人 保健施設	老人 ホーム	自宅	その他
H20	1,962	1,210 (61.7)	54 (2.8)	50 (2.5)	96 (4.9)	520 (26.5)	32 (1.6)
H21	1,985	1,231 (62.0)	75 (3.8)	40 (2.0)	112 (5.6)	492 (24.8)	35 (1.8)
H22	2,019	1,260 (62.4)	72 (3.6)	45 (2.2)	100 (5.0)	501 (24.8)	41 (2.0)
H23	2,140	1,313 (61.4)	59 (2.8)	54 (2.5)	108 (5.0)	574 (26.8)	32 (1.5)
H24	2,206	1,355 (61.4)	67 (3.0)	49 (2.2)	131 (5.9)	556 (25.2)	48 (2.2)
H25	2,304	1,465 (63.6)	75 (3.3)	63 (2.7)	130 (5.6)	535 (23.2)	36 (1.6)
H26	2,239	1,345 (60.1)	73 (3.3)	68 (3.0)	134 (6.0)	576 (25.7)	43 (1.9)
H27	2,090	1,258 (60.2)	71 (3.4)	76 (3.6)	139 (6.7)	516 (24.7)	30 (1.4)
H28	2,107	1,311 (62.2)	58 (2.8)	84 (4.0)	155 (7.4)	471 (22.4)	28 (1.3)
H29	2,205	1,308 (59.3)	69 (3.1)	118 (5.4)	174 (7.9)	483 (21.9)	53 (2.4)
H30	2,250	1,272 (56.5)	83 (3.7)	114 (5.1)	166 (7.4)	570 (25.3)	45 (2.0)
R1	2,278	1,263 (55.4)	62 (2.7)	155 (6.8)	172 (7.6)	580 (25.5)	46 (2.0)
R2	2,094	1,193 (57.0)	36 (1.7)	127 (6.1)	174 (8.3)	525 (25.1)	39 (1.9)

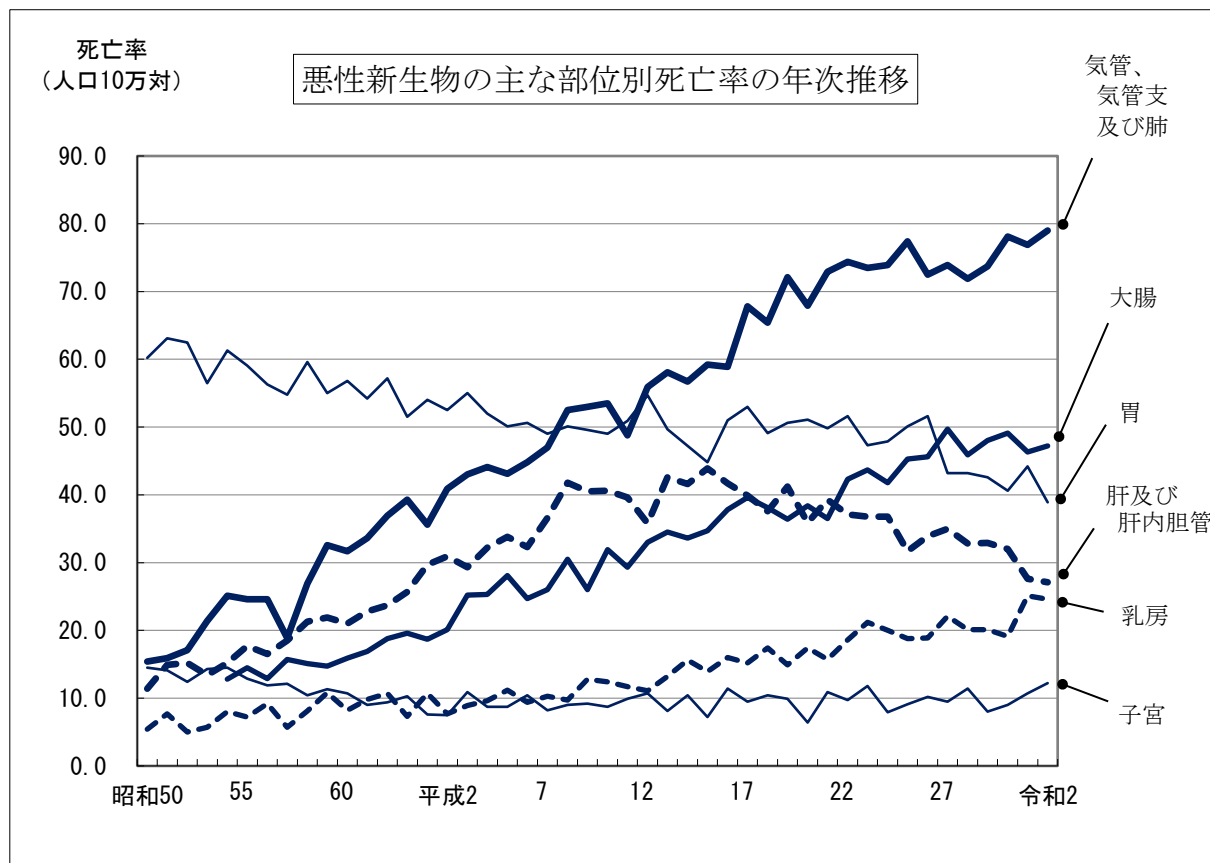
脳血管疾患による死亡者数（人）（和歌山県）（ ）死亡総数に対する割合%

	総数	病院	診療所	介護老人 保健施設	老人 ホーム	自宅	その他
H20	1,140	865 (75.9)	41 (3.6)	20 (1.8)	86 (7.5)	120 (10.5)	8 (0.7)
H21	1,059	835 (78.8)	38 (3.6)	14 (1.3)	73 (6.9)	94 (8.9)	5 (0.5)
H22	1,060	809 (76.3)	39 (3.7)	20 (1.9)	58 (5.5)	122 (11.5)	12 (1.1)
H23	996	745 (74.8)	44 (4.4)	28 (2.8)	75 (7.5)	97 (9.7)	7 (0.7)
H24	1,025	767 (74.8)	41 (4.0)	42 (4.1)	82 (8.0)	79 (7.7)	14 (1.4)
H25	1,037	750 (72.3)	49 (4.7)	39 (3.8)	100 (9.6)	85 (8.2)	14 (1.4)
H26	1,044	783 (75.0)	57 (5.5)	29 (2.8)	87 (8.3)	80 (7.7)	8 (0.8)
H27	942	706 (74.9)	37 (3.9)	27 (2.9)	100 (10.6)	59 (6.3)	13 (1.4)
H28	925	705 (76.2)	31 (3.4)	37 (4.0)	82 (8.9)	55 (5.9)	15 (1.6)
H29	895	669 (74.7)	36 (4.0)	30 (3.4)	78 (8.7)	63 (7.0)	19 (2.1)
H30	835	648 (77.6)	27 (3.2)	32 (3.8)	65 (7.8)	48 (5.7)	15 (1.8)
R1	795	604 (76.0)	31 (3.9)	31 (3.9)	71 (8.9)	42 (5.3)	16 (2.0)
R2	808	596 (73.8)	25 (3.1)	46 (5.7)	62 (7.7)	64 (7.9)	15 (1.9)

(3) 部位別にみた悪性新生物

悪性新生物での死亡数は 3,296 人であり、前年の 3,305 人よりも 9 人減少した。

悪性新生物の主な部位別死亡率は、1 位「気管、気管支及び肺」2 位「大腸」3 位「胃」となっている。「気管、気管支及び肺」は平成 8 年にはじめて「胃」を上回り、それ以降は平成 11 年を除き 1 位となっている。



注) ①「大腸」は昭和 54 年からの分類である。

注) ②「子宮」は女性 10 万人対の死亡率である。

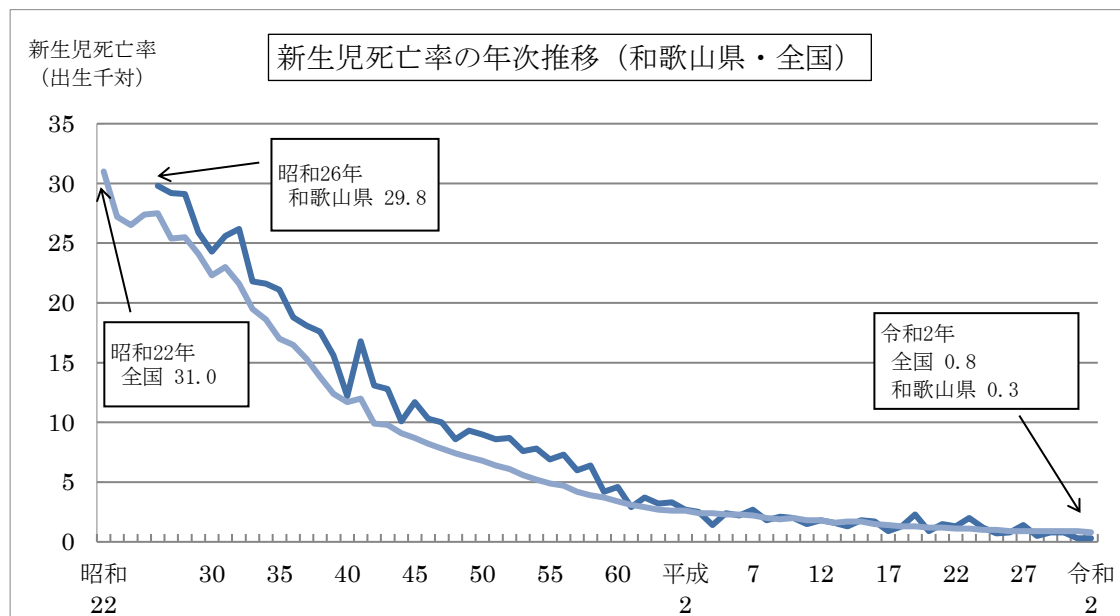
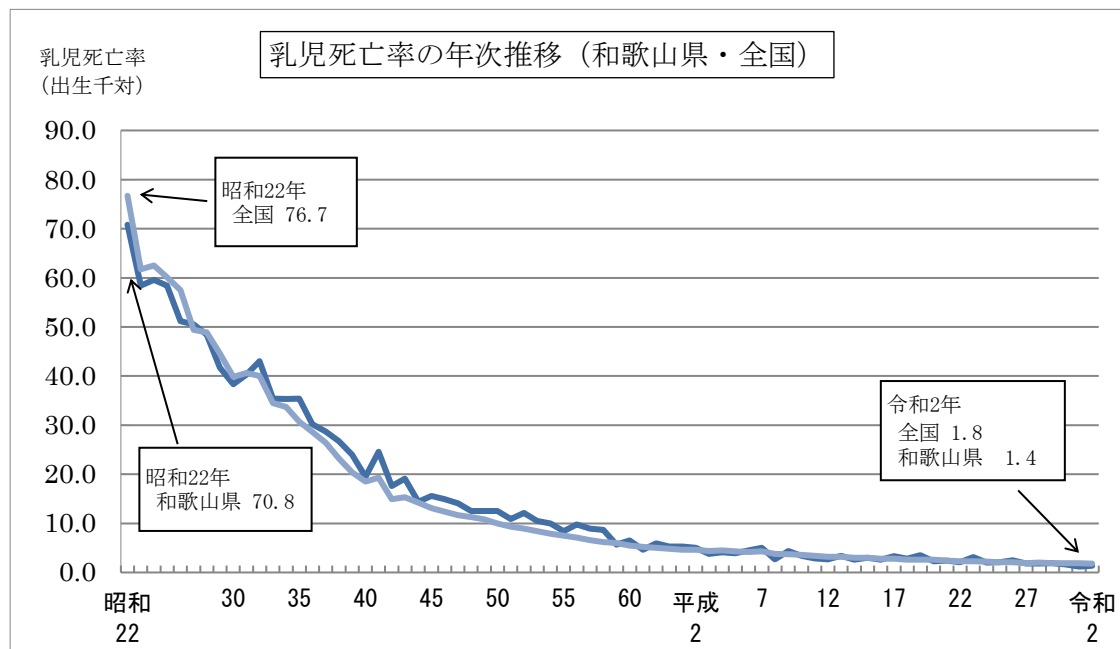
(4) 乳児死亡、新生児死亡

令和2年の乳児死亡数は8人で、前年の7人より1人増加した。

乳児死亡率（出生千対）は1.4で、前年の1.2を上回った。

令和2年の新生児死亡数は2人で、前年と同数であった。

新生児死亡率（出生千対）は0.3で、前年と同率であった。

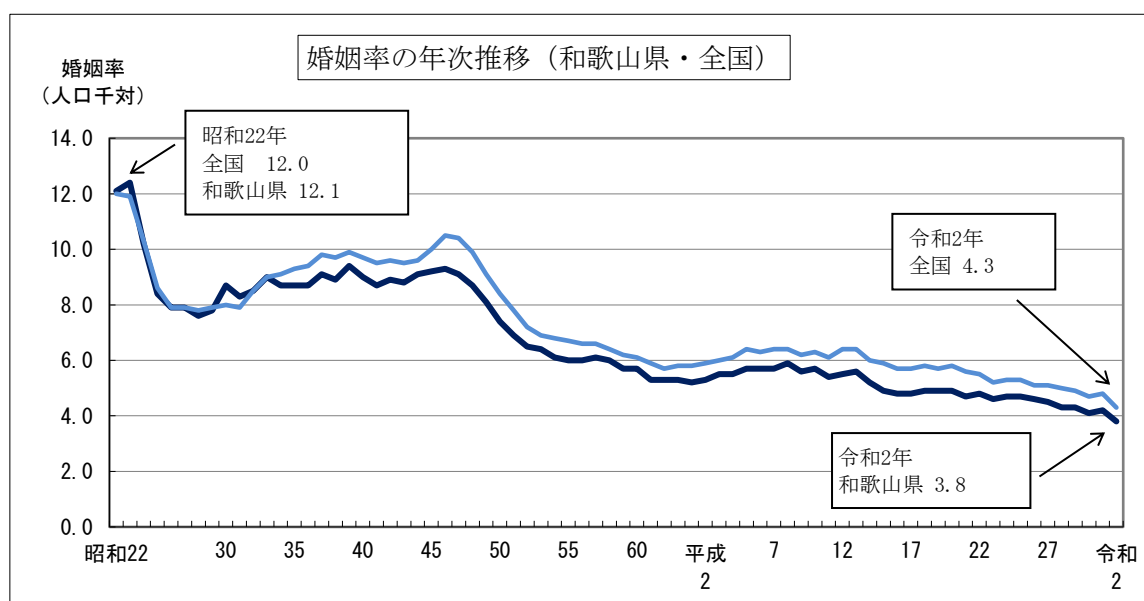
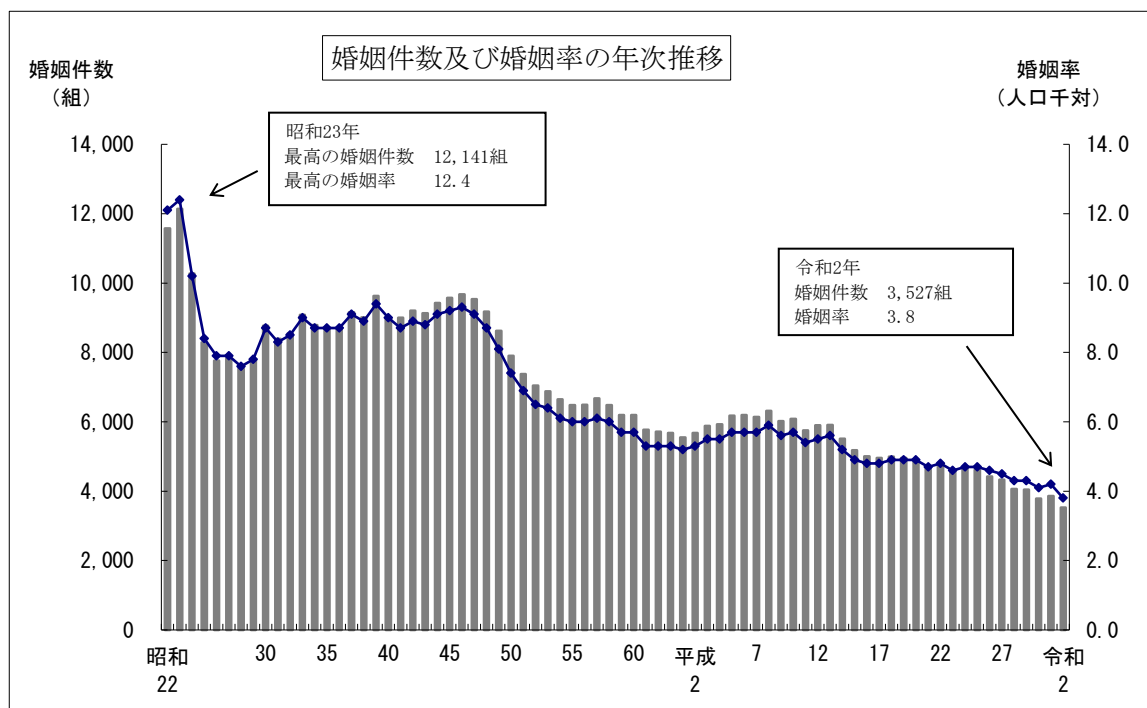


3 婚姻

令和2年の婚姻件数は3,527組で、前年の3,860組より333組減少した。

婚姻率（人口千対）は3.8で、前年の4.2を下回った。

昭和30年から40年代前半は9,000組前後で推移していたが、昭和47年以降は減少傾向となった。平成元年からは緩やかな増減を繰り返していたが、平成14年からは減少傾向にある。



令和2年の平均初婚年齢は、夫は30.1歳で、前年の30.5歳から0.4歳減少した。妻は28.8歳で、前年の29.0歳から0.2歳減少した。

全国では、夫が31.0歳、妻が29.4歳で、前年よりともに減少した。

和歌山県・全国とも、夫および妻の平均初婚年齢は上昇傾向にあり、ここ10年では和歌山県の夫が0.4歳、和歌山県の妻が0.6歳、全国の夫が0.5歳、全国の妻が0.6歳、それぞれ上昇しているが、いずれの年においても、和歌山県は全国を下回っている状況である。

平均初婚年齢（夫）の推移（和歌山県、全国）

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
和歌山県	29.7	29.7	29.9	30.0	30.2	30.3	30.2	30.5	30.2	30.3	30.5	30.1
全 国	30.4	30.5	30.7	30.8	30.9	31.1	31.1	31.1	31.1	31.1	31.2	31.0

平均初婚年齢（妻）の推移（和歌山県、全国）

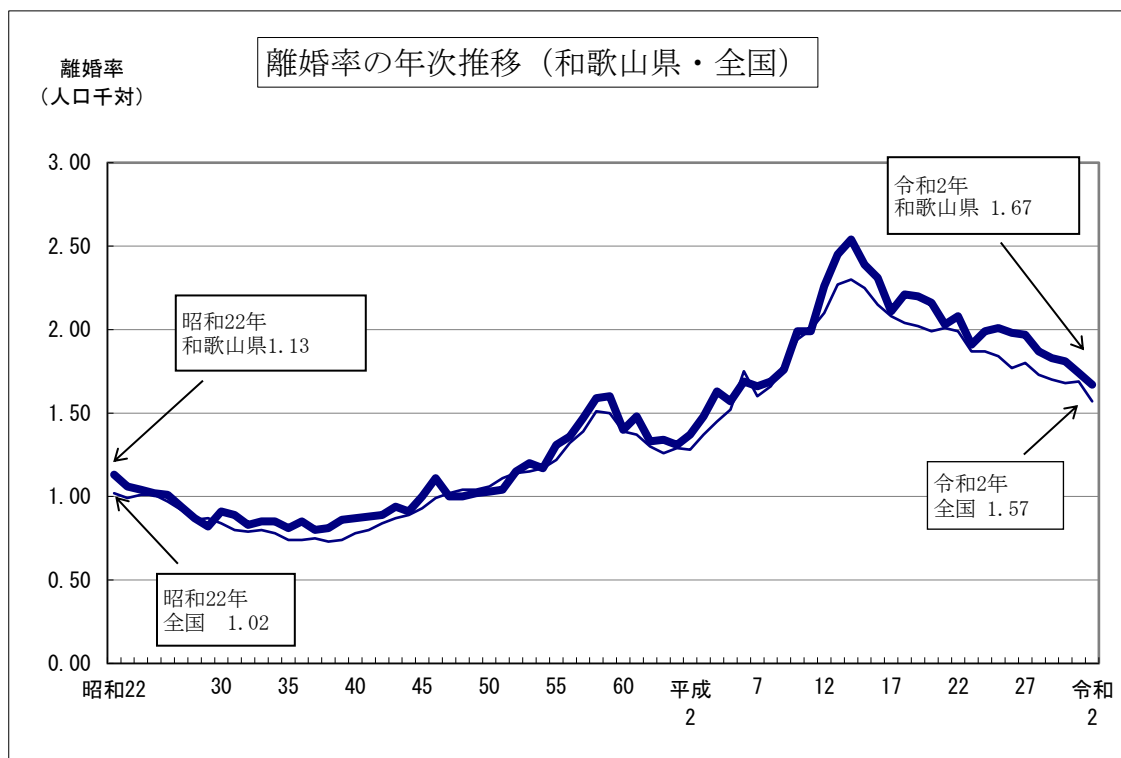
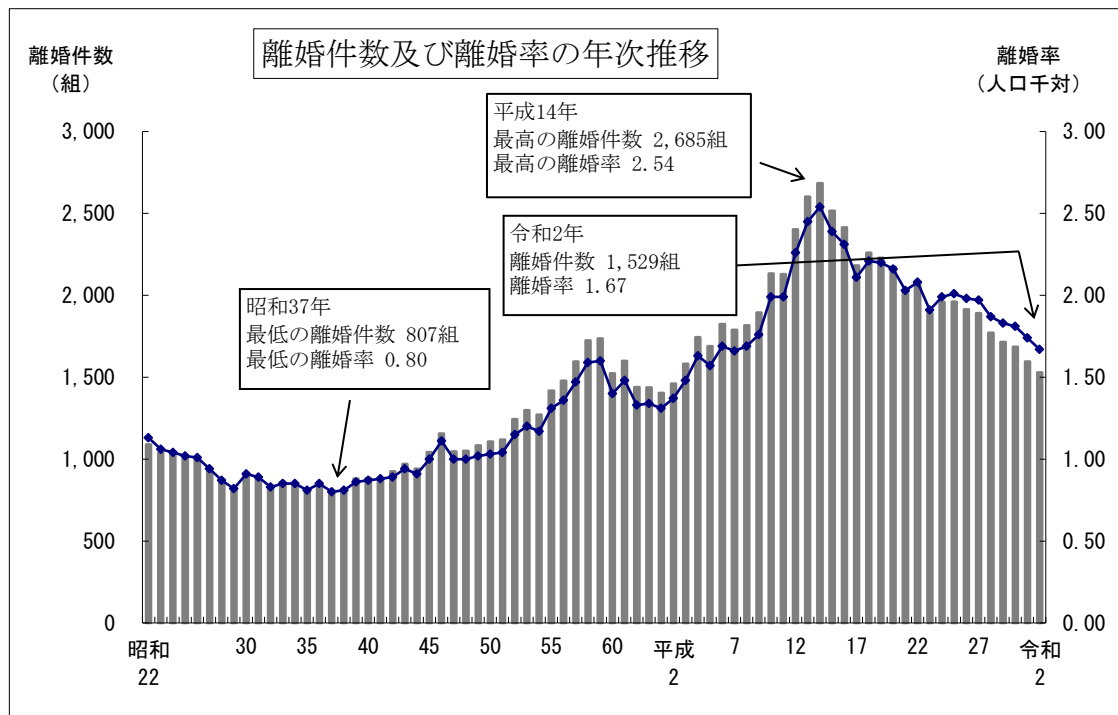
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
和歌山県	28.1	28.2	28.4	28.6	28.6	28.8	28.7	28.9	28.7	28.9	29.0	28.8
全 国	28.6	28.8	29.0	29.2	29.3	29.4	29.4	29.4	29.4	29.4	29.6	29.4

4 離婚

令和2年の離婚件数は1,529組で、前年の1,595組より66組減少した。

離婚率（人口千対）は1.67で前年の1.74を下回った。

昭和38年以降、離婚件数は増加傾向であったが、平成14年をピークに減少傾向にある。



IV 統計表